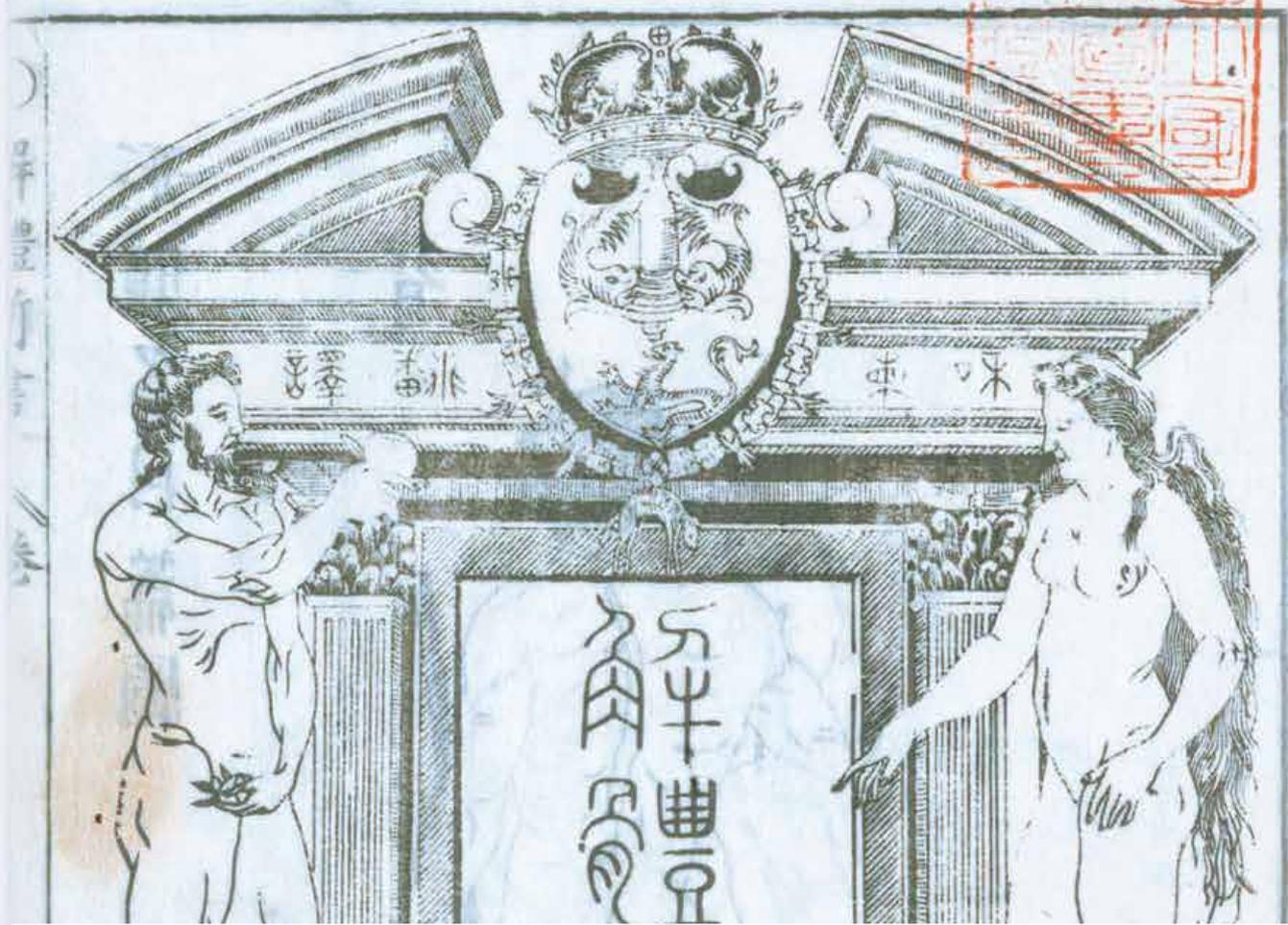


# 医療総合支援機構タイムス

発行：医療総合支援機構 / 〒502-0082 岐阜県岐阜市長良東2-37 RSDビル3階 北号室 電話 080-2658-4749



## 医療総合支援機構タイムス 第3回 対談

### 「医療と航空」について



川崎重工業株式会社  
航空宇宙システムカンパニー プレジデント  
専務執行役員

**下川 広佳**  
Shimokawa Hiroyoshi

一般社団法人医療総合支援機構  
代表理事

**小倉 真治**  
Shinji Ogura

## 医療総合支援機構タイムス 第3回 対談

## 「医療と航空」について

ゲスト

川崎重工業株式会社

航空宇宙システムカンパニー プレジデント

専務執行役員 下川 広佳

一般社団法人医療総合支援機構

代表理事 小倉 真治

(岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センター長)



## ベストセラーヘリコプター BK117

## — お二人が知り合いになられたきっかけは。

**小倉** 7、8年前でしたか、岐阜大学が主催する「産学連携講演会」で私が講演した時に、メインテーブルで下川さんとご一緒したと記憶しています。

**下川** 「1分1秒を削りだせ」という人命救助のための強烈なテーマでお話をいただき、心に染みました。ドクターヘリを供給し、サポートさせていただいていることに重大な責任感を覚えると共に、益々誇りに思いました。

**小倉** 川崎重工業でBK117ヘリコプターが製造されているのは存じていました。前任の香川医科大学附属病院（現・香川大学医学部附属病院）でも、そのヘリに搭乗していましたので、安定性と取り回しの良いスペース性がある機種と感じています。岐阜大学にも導入され、地元で工場がある企業で造られた



「地産地消」と誇りに思っています。このフレーズは講演でもよく使っています（笑）。

**下川** BK117は、小型ヘリコプターの中でも広いキャビンスペースがあり、ストレッチャーの出し入れもスムーズで、最高のヘリコプターです。国内外で1800機近くを出したベストセラー機で、命を救う救急医療用ヘリとしての国内シェアは約4割をいただいています。

**小倉** BK117のKは川崎、Bは当時の西ドイツのメッサーシュミット・ベルコウ・ブローム社（現・エアバス・ヘリコプターズ・ドイツ社）の頭文字ですよね。

**下川** はい、その通りです。約50年前に両社のオリジナルとして共同開発したのが始まりで、現在では最新型D-3型を開発し、国内のヘリコプター運航会社

に納品し、活躍すべく準備をしているところです。

**小倉** D3をドクターヘリに使用するの国内初ということですね。

**下川** ローターシステムを改造し、回転翼を4枚から5枚にして搭載能力を上げました。また、振動を限りなく低減し、ドクターにもフライトナースにも体に優しい機体となっています。ぜひ一度、小倉先生にも体感していただき、感想をお聞きしたいです。

**小倉** 実は、4月末に岐阜大学に導入され、私も乗り、まさに体に優しいのを感じたところです。

サポート体制にも尽力  
安全運航に向けて常に準備

—ドクターヘリの活動において、どのような思いで携わり、役割を担っていると感じていますか。また、どのような活躍を期待していますか。

**下川** 日本は島国のため、山が多く、平野部が少なく、離島も多いです。そのような環境下で、緊急医療の分野においては、救急車では限界があります。一方、ヘリコプターは、ある程度水平な場所があれば、離発着が可能で、高速で飛んでいくことができます。そのため、1分1秒を削る緊急医療の世界では、ドクターとナースが現場近くまで急行し、病院に戻るまでの間に、初期治療を始められるという利点があります。この環境を提供できることは、私たちにとって非常に誇りです。失う命より救う命の方が勝ります。人命救助という社会的貢献に対し、BK117を通して、開発、製造、安全確保に努め、先生方からの要望をいただきながら、少しずつ改善して使いやすいドクターヘリを送り出しています。

**小倉** 課題を挙げるとすれば、どのような点がありますか。

**下川** パイロットと整備士の不足です。2019年5月、岐阜工場にBK訓練センターを立ち上げました。高度な訓練ができる環境を提供し、熟練したパイロットや整備士の育成を一生懸命進めています。また、この4月から搭乗員間の連携訓練のため、ヘリコプターのVRシミュレーターを活用した訓練の提供を始めました。現場では、自然環境が刻々と変化する中で、搭乗員全員が意思統一を図ることが求められます。状況を把握して、適切な判断を下して、安全に運航するためのさまざまなシミュレーション訓練を行っています。

**小倉** 日本のドクターヘリの運用では、安全確保はパイロットに任せています。そのため、単に操縦技術だけではなく、状況を判断することが非常に重要になりますね。

**下川** 単に物を製造して納品して終わりというのではなく、サポート体制にも力を入れてきました。サービス、安全、そして訓練を含めて総合的にお支えすることが、救急医療の世界の社会課題解決に対しての私たちの任務と思っています。患者さんの命を救っていただくのは先生方を中心とした医療クルーの皆さんになりますが、機材をいつでも安全な状態で運航できるように、委託される運航会社と連携しながら、緊急時の対応に備えて運用することが使命であると思っています。



**小倉** 安心して現場に迎えることに確実につながっています。

手術支援ロボット hinotori  
遠隔手術や技能伝承に期待

—医療用の手術支援ロボット「hinotori」について、開発までの思いなどをお聞かせください。

**小倉** 川崎重工業が工業用ロボットを開発し、技術が優れていることは、以前から定評がありましたが、医療用に着目したきっかけは。

**下川** 弊社の代表取締役社長である橋本康彦の父が医師で、医学一家でした。当時、他社の医療用ロボットに不満が出ていたことに注目し、代替製品を作り、医学界に貢献したいという思いから開発が始まりました。以前の川重は培ってきた技術や製品をどのように生かしていけるかというプロダクトアウトの思考でした。それを医師の皆さんから、現在使用している機器の課題などを聞き、理解した上で試作を行い、使っていただきながら一つずつ改善して形にしました。その際には、お客様の課題をニーズと捉え、新たな製品を生み出していく、マーケットインの思考で開発を進めました。

**小倉** これまでの医療用ロボットに比べて、どのような特徴がありますか。

**下川** 特徴の一つは、遠隔で機器のモニタリングを行えることです。近い将来、離島など離れた場所でも、機器があれば遠隔手術を行えるという世界は、もうすぐそこまで来ていると思っています。また、医師

の手技をデジタルで残すことができ、アーカイブになります。分析すると、理想的な手術動作が分かってきますので、若い医師の皆さんが行っている訓練で、その違いを比べながら、技能伝承にも使えるのではないかと考えています。

**小倉** hinotori という名前の由来は。

**下川** 漫画家の手塚治虫さんの代表作『鉄腕アトム』の物語から来ています。無機質なロボットに命をつないだように、医療支援ロボットを使って命をつなぎ、新しい人生を楽しく活性化してもらおう。そのような機会を与えるロボットとして、命を吹き込みたかったという思いが込められています。弊社のグループビジョン2030では、次の世代に安全・安心なリモート社会を届けると掲げています。hinotori もその一つです。現在は泌尿器科での使用ですが、これから幅広い領域に広げていきたいと思っています。

**小倉** いろいろな思いを託されていますね。

**下川** コロナのPCR自動検査システムもやっています。市中スクリーニングについて行政から受託しています。検体を入れると、80分ほどで結果を出せ、1日約2000検体を1つのシステムで処理できます。空港関連では、国際線が動き出すのを踏まえ、受託を受け始めています。

## 医療品などを輸送できる 小型機の開発を進める

— 将来に向けて航空機を使った医療について、研究開発を教えてください。



▲ドクターヘリ製造工場 見学の様子



▲ヘリコプター操縦のVRシミュレーター体験の様子

**小倉** 今後、感染リスクも含めて、人の手に変わる自動化されたもの、機能だけを代用するものが出てくると考えています。その中で、研究開発の状況はいかがですか。

**下川** これからのテーマは少子高齢化と捉えています。労働環境の厳しい場所における働き手が不足している現場、特に介護分野では人手がなかなか定着しない現実があります。いま、私たちは人型ロボットの開発も進めています。自立二足歩行ができ、一人を抱えられる腕力を持つロボットの開発が進んでいます。コロナ禍のように、人と人が直接接触すると危険性があるような感染症などのケースにおいて、介護や医療の現場では、遠隔操作が可能です。人手が不足している医療や介護といった分野にニーズが広がると考えています。社会的貢献も踏まえ、大きな事業の一つとして非常に大事な分野であると認識しています。

**小倉** 無人機などはどのように取り組まれていますか。

**下川** ドローンは電動バッテリーで動くため、重量や飛行距離などに限界があります。小型の無人ヘリコプターであれば、もっと早く、もっと重たいものを、もっと遠くまで運ぶことが可能になると考えています。

**小倉** 無人ヘリコプター「K-RACER(ケイレーサー)」は、岐阜から高山まで無人飛行ができる可能性がありますね。

**下川** 長野県伊那市からの受託事業で実証試験をすべく開発しているK-RACERは、1時間100kmほどのフライト、100kg以上の荷物の運搬ができます。

将来、病院間の医療品などの輸送をはじめ、災害などの緊急事態が発生した場合の輸血用血液製剤や物資などを運ぶ用途への活用も考えられます。院内搬送ロボットの開発も進めています。お食事やお薬を運ぶだけでなく、「ご機嫌いかがですか」「体温はいかがですか」などと語り掛け、ナースステーションにいる看護師と連携を取りながら、看護師の負担が軽減するような心配りのできるロボットを模索しています。医療分野において、大切なニーズがあると思っています。私たちはいま需要の開拓をしているところです。臓器移植ネットワークなどにもお声を掛けています。

**小倉** 日本輸血・細胞治療学会のシンポジウムでも触れていきたいと思います。

## 時代に合わせて ソリューションを生み出していきたい

— 結びに、川崎重工としての今後の抱負、小倉先生からは川崎重工に期待することをお聞かせください。

**下川** 社員は社会課題の解決に自分が貢献していることに誇りを持ち、意欲的に仕事に従事しています。今まで私たちが取り組んできた分野はそれぞれ独立

していましたが、横串を刺し、全ての知恵を結集して、いまの社会課題解決に役立てようとしています。みんなの知恵とリソースを集め、一つのソリューションを作っています。言い換えれば横串を通した総当たり事業として、時代に合わせてソリューションを生んでいけるような“軽重工業”を目指しています。

**小倉** 私は昔から川崎のオートバイのファンでしたが、川崎重工が横串を刺したことにより組織が大きく変わり、hinotoriをはじめとして、多くの場面で社会に貢献されていると感じました。医療の世界も未だに縦割り社会ですが、岐阜大学医学部附属病院の高次救命治療センター長や病院長などを歴任する中で、常に組織論を念頭に入れて取り組み、病院内に「救急」という横串を入れました。やはり柔軟に動ける機能的な組織が良い結果をもたらすと改めて感じました。

**下川** 小倉先生と意見を交換していると、新たなヒントをいただけます。私たちの次の事業に生かしていきたいと思っています。

**小倉** 今後もさまざまなニーズがあり、受け取ってくれるようなチャンネルがあれば、さらにいろいろな世界のニーズを吸い上げられるのではないのでしょうか。将来にわたり、ドクターヘリも改善していただくことを期待しています。



病院経営とそれに対するコロナの影響  
— 全国医学部長病院長会議の解析を中心に —

藤田医科大学 学長 / 藤田医科大学 病院群 統括病院長 湯澤 由紀夫

新型コロナウイルスは、オミクロン株の出現により新たな局面に入ってきた。第5波までのパンデミックの経過の中で、第4波の関西地区・第5波の東京地区が医療逼迫の危機を経験した。一方、この間愛知県は多くの感染者の発生がありながら、医療体制崩壊の瀬戸際で持ちこたえてきた。これは、感染者数の相違もあるものの、早期から県主導の待機施設の導入及びコロナ専門病棟の立ち上げ、さらにワクチン大規模接種会場の運用による高いワクチン接種率などの効果も影響していると考えられる。

全国レベルでは、全国医学部長病院長会議(AJMC)は、第1波の時点から全国82大学病院及び分院(55施設)における受け入れ感染者数及び医療への影響度を定期的に全国に発信し、重症患者は特に大学病院が中心となり受け入れるように要請を行ってきた。本講演では、病院長の視点から、今までのCOVID19対策の推移及びAJMCとしての取り組みについて報告する。

第5回医療総合支援セミナー 開催報告

2022年6月8日、第5回目のセミナーを開催いたしました。

今回のセミナーも、新型コロナウイルス感染防止の観点より、十分な感染対策を講じた会場と、ウェビナーとのハイブリッド開催で行いました。

講師に、藤田医科大学学長 湯澤由紀夫先生をお招きして、『病院経営とそれに対するコロナの影響』をテーマにご講演頂きました。

セミナーに参加いただいた約20名の皆様からは、『大学病院経営の裏側、コロナ関連の取り組みの実態など、非常に興味深かった』『コロナウイルス対策についての病院の対応や研究内容が分かり、日々の業務が理解できた。今後とも地域医療の安定的な継続をお願いします』『早くから、コロナ患者を受け入れてきた藤田医科大学の先生のお話を聞いて勉強になった』等の感想をいただき、盛況のうちに終了しました。

第6回の開催は今秋を予定しております。

今後より多くのニーズに沿った、皆様のお役に立てるセミナーを企画してまいります。詳細が決まりましたらご案内させていただきますので、ぜひご参加くださいませ。



50音順

石木クリニック

院長 石木 佳英 先生

私は、患者さんのニーズにこたえられるような診療をしていきたいと思っています。

その中でも特に、内視鏡診療をメインにおこなっており、胃や食道などの上部内視鏡検査は月におよそ120件、大腸内視鏡検査は30件行っています。在宅患者さんも現在15名ほどの担当しており、在宅での看取りも行っております。他にも禁煙治療、睡眠時の無呼吸症候群の簡易的な検査、AGA「男性型脱毛症」の診療も行っており、あらゆるニーズにお応えできるよう取り組んでいます。

「オンライン診療」ではなく、しっかりと対面を話し、聴診器をあてたり、お腹を触ったりと、患者さんの状態を判断し、そのうえで必要に応じて検査を行っています。

患者さんにいい医療を提供するためには、職員が楽しく仕事をしていなければなりません。年一度は2泊で職員旅行へいきます。春、夏、秋には1日休診日にして遠足にいきます。

職員一緒になって「一生懸命働き、一生懸命遊ぶ」をモットーに日々頑張っています。



◆石木クリニック  
所在地/関市西本郷通3-7-41  
電話/0575-23-7455  
F A X /0575-23-7455  
診療時間/9:00~12:30、15:30~18:30  
休診日/木曜日、土曜日午後、日曜日、祝祭日

Medical member introduction

医療会員

紹介

医療総合支援機構に加盟の  
会員の皆様をご紹介します



おおのレディースクリニック

院長 大野 元 先生

モットーは「一日ひとり、不妊治療にて人口を増やしたい」

当院では、できるだけ早く、身体に優しい治療で妊娠することを最優先しています。

そのため、一般的な「ステップアップ治療」は行っていません。「必要以上の検査」も行っていない。きちんと排卵があるのに、排卵誘発剤を使わずに妊娠はありますか?これらを考慮しないで、教科書的に、漠然とステップ治療をすることで、無駄に時間を費やしてはいませんか?

より早くママになるために何をすべきか?妊娠できないことに対する苦悩をいかに早く取り除くことができるか?私たちは、患者さまの希望を優先しながら、最も高い治療を、できる限り軽減して提供しています。

当院の診察券をご覧ください。休診がありません。排卵はお産と同じように、いつ起こるか分かりません。それを考えると休んではいけません。

岐阜周産の人口を増やしたい。私たちは常に患者さまの幸福だけを願っています。



◆おおのレディースクリニック  
所在地/岐阜市光明1-44  
電話/058-233-0201  
F A X /058-232-7148  
診療時間/9:30~12:30、16:00~19:00  
休診日/土曜日、日曜日午後

梶の木内科医院

院長 梶 尚志 先生

地域の皆さま、スタッフ、その家族に対して一生のパートナーとして、寄り添う覚悟で診療にあたっています。

梶の木内科の理念は、社会貢献と人材育成です。共に働く医師や医療従事者、事務職員を「人財」として育てていきたいと思っております。感謝の気持ちや喜びを共有することがスタッフのモチベーションがあり、それを他人へ広げることによって喜びを感じているような人材です。

スタッフの教育には力を入れています。診療の合間に、「仕事の日目標・目的を持つことが大事である」ということを指導しますが、一緒にWebセミナー受講をしたりして、共に成長しつつつづけることが地域貢献、他者貢献へとつながっていると思います。当院の特徴として、内科疾患に限らず、アレルギーや皮膚科領域など「身近にあって何でも相談のつくれる総合的医療」を心がけています。

また、お子さんからお年寄りまですべてサポートできるよう、梶の木保育園(認可保育園開設)を立ち上げ、在宅医療に力を入れています。当院では、病だけを見るのではなく、病人さんそのものに向き合う「心のケア」の取り組みもおこなっておりますので、少しでも気になることがありましたら、気軽にお越しください、ご相談下さい。



◆医療法人梶の木会 梶の木内科医院  
所在地/可児市川合2340-1  
電話/0574-60-3222  
診療時間/9:00~12:00、15:00~19:00  
(※土曜日のみ13時まで)  
休診日/木曜日、土曜日午後、日曜日、祝祭日

かとう耳鼻咽喉科サージクリニック

院長 加藤 雅也 先生

大学病院勤務医時代の経験を活かし、特に手術を含めて質の高い医療を提供していきたいと思っています。

広範囲な耳鼻咽喉科疾患に対応できる医療施設であり、これまで中耳炎手術を中心に取り組んできた経験から、手術はもちろんのこと、可能な限りここで完結できるような治療を努めています。それだけではなく、幼少期から岐阜で過ごしてきた人のネットワークから、近隣の病院との深いつながりをもつことで、より良い医療が行えるよう心がけています。

耳鼻咽喉科疾患のみならず、困ったことやご相談がありましたら、気軽に当院へ足を運んでください。

【得意とする疾患】

- 中耳炎、アレルギー性鼻炎、花粉症、蓄膿症(慢性副鼻腔炎)、鼻出血、めまい、難聴、睡眠時無呼吸症候群など
- アレルギー性鼻炎に対するレーザー治療可能
- 耳鼻咽喉科(耳・鼻・のど)の病気を全般
- 画像ファイリングソフトを導入、顕微鏡やファイバースコープ(耳・鼻・咽・喉頭の画像)所見、デジタルレントゲン、各種聴力検査などを供覧



◆かとう耳鼻咽喉科サージクリニック  
所在地/各務原市蘇原花園町1-57-1  
電話/058-389-6733  
F A X /058-389-0404  
診療時間/9:00~12:00、16:00~19:00  
休診日/水曜日、土曜日午後、日曜日、祝祭日

岐阜清流病院

理事長 名和 隆英 先生

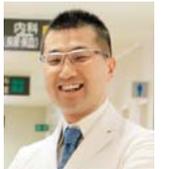
「笑顔で生きて、笑顔で死にたい」  
大多数の方の願いではないでしょうか。清光会は地域の皆様のそんな願いが叶うよう、ありったけの努力、心遣いをします。

急な病気がかかってしまった時、病気がよくなったけど動けなくなってしまった時、ご相談下さい。元気になっていただけるよう全力を尽くします。高齢のご家族の方が弱ってきたと感じられた時、弱られた時、ご相談下さい。ご本人とご家族の希望が叶うようサポートをさせていただきます。

最期を迎えられる時、ご相談下さい。一生で大切な時間をより良く過ごしていただけるよう、寄り添います。医療・介護を通じ、地域の皆様に「笑顔あふれる暮らしをお届けします。」これが清光会の理念です。

皆様に笑顔になっていただける、気軽に使っていただける、地域に根ざした法人でありたいと思います。

何卒、よろしくお願ひ申し上げます。



◆岐阜清流病院  
所在地/岐阜市川部3-25  
電話/058-239-8111  
F A X /058-239-8216  
診療時間/9:00~12:00、16:00~17:00  
休診日/土曜日午後、日曜日、祝祭日、年末年始

## さくらクリニック

院長 佐竹 真一 先生

当院は、胃・大腸の内視鏡検査がセールスポイントであり、同日に両検査を実施することができるのも魅力の一つです。大腸内視鏡検査では、下剤を飲んだ後の待ち時間を個室で過ごすことができます。個室は全4部屋あり、トイレやテレビ、ソファ等も完備されており映画鑑賞もできます。なる



べくリラックスして患者さんの緊張を和らげる空間づくりを心掛けています。先進医療機器の導入・検査を行うことで、早期に小さな病変を発見することができます。他にもエコーやCTなどの導入により高いレベルで検査を行うことができます。

専門分野だけではなく、風邪などの内科や小児科など、幅広い診療に対応しておりますので、まずは気軽にご予約・ご連絡いただければと思います。

◆さくらクリニック  
所在地/瑞穂市福里689-3  
電話/058-325-0570  
診療時間/9:00~12:00、16:00~19:00  
休診日/木曜日午後、日曜日、祝日

## 東海中央病院

病院長 松井 春雄 先生

当院は公立学校共済組合の職域病院として設立されましたが、その後、地域住民の方々にも開かれた病院として、現在では、職域の健康管理を担うとともに、各務原市及びその周辺地域において、実質的に市民病院の役割を果たす中核的な公的病院です。

その責任上、経営上不利とされる不採算部門も含めて地域医療に貢献しています。

医療は公共財であるために効率の良い経営が必要ですが、同時に単純な利益至上主義にならないように努力しています。

将来は地域に貢献するために地域枠の医師が活躍できる場を整備したいと考えています。

2011年3月に新病院を開院し、これからの大きな飛躍の時期にあたります。今後も、地域の医療・介護・福祉のコミュニティに密着した親しみのある病院を目指し、日々努めて参ります。



◆東海中央病院  
所在地/各務原市蘇原東島町4-6-2  
電話/058-382-3101  
診療時間/8:30~11:30  
休診日/土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始

## 白井病院(眼科専門病院)

(右)理事長 白井 義人 先生 (左)病院長 宇野 俊彦 先生

病院の財産である「人」を一番大切にしています。「人」に関しては定数にとらわれず、当院にとって必要とする人材であれば定数を越えて積極的に採用しています。業務のパフォーマンスを上げるためには、一人ひとりに余裕がないと質の高い仕事をしたり、良好な人間関係を築き上げたりすることが難しくなります。また、人材育成には特に力を入れており、中途採用であってもチューター制度を取り入れ、当院の業務にフィットするまでバックアップしていきます。

眼科専門病院として、職員全員には眼科医療に携わるプロとして活躍して欲しいという思いで医師や医療従事者だけでなく、事務職員にも学会や研修等に積極的に参加してもらっています。

そして「医療機器」「外部医療機関」に対しては、既成概念を捨て、法人独自の考え方をしています。最新の検査機器や手術機器を導入することで最良の医療を提供していますし、大学医局の枠にとらわれず、さまざまな専門医が勤務しており、眼科疾患のほとんどは当院で完結することができます。

これからも、患者さんに「来てよかったあ」と言っていたいただけるよう「満足のいく医療」を提供できるよう心がけていきたいと思っております。



◆医療法人名世社 白井病院(眼科専門病院)  
所在地/香川県三豊市高瀬町上高瀬1339  
電話/0875-72-3131  
FAX/0875-72-3134  
診療時間/8:30~12:00  
14:00~16:00(土曜日17:00)  
休診日/日曜日・年末年始

## 独立行政法人国立病院機構 長良医療センター

院長 松久 卓 先生

当院は、2005年3月に国立療養所岐阜病院と国立療養所長良病院の2病院が統合し誕生しました。主に筋ジストロフィー・重症心身障害等のセーフティネット医療、精核をはじめとする呼吸器疾患、小児科疾患全般、産科産産期医療を4本柱として専門性の高い医療を提供してきました。しかし医療を取り巻く環境も大きく変わりました。今後は従来の小児科疾患や呼吸器疾患の急性期を受け入れながら、さらに慢性期医療や終末期医療の提供についても視野に入れていきたいと考えています。

私の強い願いは2つあります。1つ目は、この病院が患者さんや職員にとって大切であり、なくてはならない存在であり続けることです。そのためには地域の皆さまと本音で話し合い、一緒になって考えることが重要です。2つ目は、職員がやりがいや誇りをもって働ける職場にすることです。本人のキャリアアップなどを積極的に応援し、援助し続けていきたいと考えています。

今後、超高齢化社会を迎える2040年を見据えて当院はどのように舵をとっていくか、当院が本当に地域の人々から必要な病院であり続けるためにどうしたらよいかを考えながら職員一同努力していきたいと思っております。



◆長良医療センター  
所在地/岐阜市長良1300-7  
電話/058-232-7755  
FAX/058-295-0077  
診療時間/8:30~11:00  
休診日/土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始(12月29日~1月3日)

## まついファミリアクリニック

院長 松井 聡 先生

当院の前身、まつい小児科・小児外科医院は、数多くのお子様を診察し、小児医療を通じた地域貢献を果たして参りました。

昨今少子高齢化が一層進み、小さなお子様のみならず、ご高齢の方まで幅広くサポートできる診療所になることが望ましい時代となり、より全人的な医療が提供できるクリニックへと進化するべく、2020年2月よりまついファミリアクリニックと名を改め、新築リニューアルオープンいたしました。

父子2人3脚で近隣、岐阜県地のお子様からご高齢の方に至る全ての方の“かかりつけ医”として、専門病院との架け橋となる“ゲートキーパー”として、地域医療に貢献して参ります。

小児診療はこれまで通り、一般内外科科診療もしっかりと行って参ります。わたし個人といたしましても、父の意思と信条を受け継ぎ、小児診療を大切にしつつ、これまで岐阜大学病院や市内の中核病院、名古屋のがん専門病院で外科医として小児医療から高齢者医療まで幅広く経験したことをもとに、総合診療医として地域の皆様と父とも医療貢献できればと思っております。お困りの際は当院へなんでもお気軽にご相談ください。



◆まついファミリアクリニック  
所在地/岐阜市福光東3丁目9番の7  
電話/058-233-2345  
診療時間/9:00~12:00、16:00~19:00  
休診日/土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始

## 松波総合病院

病院長 松波 和寿 先生

「地域に必要とされる病院へ」

当院は2014年7月に急性期医療に特化した北館が完成し、災害時の医療体制を整えると同時に、救急・急性期医療の充足を図っています。同時に、手術室を増室することで大動脈瘤、急性心筋梗塞や脳卒中にも24時間迅速に対応できるよう、万全な体制をとっています。

ESなくしてCSなしという言葉がありますが、当院では7階全フロアを医局とし、医師全員が垣根なくコミュニケーションをとることが出来るよう、充実した居住空間を確保しています。その結果、高い専門性を有した指導医たちと若手医師がいつでも気軽に意見交換ができる研修の場にもなっています。様々な専門医と総合診療医に接することでト全体を診ることのできる総合医的な能力が若い医師に身につくはずとします。

最近、イノベーション(技術革新)推進本部という部署を立ち上げました。地域に貢献すべく、考え方やシステムなど新しい価値観を創造し、日常業務に大きな変化をもたらす重要な部署となります。今後は、職員で決めた3か年ビジョンを実現していきたいと思っております。

【3か年ビジョン】

●地域包括ケアシステムの要として、日本一の民間病院になる。●誇りを持った職場になる。●選ばれる病院になる。●全職員が志を同じくし、常に成長・変化できる組織。



◆松波総合病院  
所在地/羽島郡笠松町代田185-1  
電話/058-388-0111  
FAX/058-388-4711  
診療時間/8:00~11:30/14:00~16:30  
休診日/土曜日午後、日曜日、祝祭日、年末年始

## よしだファミリークリニック

院長 吉田 直優 先生

モットーは「人生を診療にささげる」です。

地域に根差し、生後0歳から90歳をこえる急性期から慢性期まで、すべての患者さんの要望にこたえるという意味で「ファミリー」という名前をつけました。実際に4世代で通ってくださる患者さんもいます。

大学救命救急センターでの経験から、消化器、外科をメインに診療しつつ、地域の救急センター

的なイメージを持っています。全ての疾患の入口を守るゲートキーパーとして、また、胃がん、大腸がんなどの悪性疾患の早期発見診断を目指しています。適切な高次医療機関に患者さんを紹介することができるのも、大学時代からの友人や先輩、後輩のおかげです。

今後とも地域のご家族全員に愛される医院をめざし、全力を尽くして皆さんのお力になります。予防接種・人間ドック、上部消化管内視鏡検査(経鼻極細胃カメラ)による検診や、ウォーターベッド型マッサージ器など各種機器を多用したりハビリテーションも行っていますので、お身体で気になる事がございましたら、いつでもお気軽にお越しください。



◆よしだファミリークリニック  
所在地/岐阜市竜田町7-8-1  
電話/058-248-1118  
FAX/058-248-1101  
診療時間/9:00~12:00、16:00~19:00  
休診日/水曜日、土曜日午後、日曜日、祝祭日

## 米倉胃腸科クリニック

理事長 米倉 幸人 先生/院長 米倉 悦子 先生

昭和57年に当地で開院して現在に至ります。消化器疾患(胃腸、肝臓、胆のう、すい臓など)の診断や治療を中心に、一般診療や健康診断、ワクチン接種など行っております。診療は2診察体制で行っております。このようなコロナ感染が心配される状況となってまいりましたので、なるべく院内での待ち時間の少ないように、予約制も併用し診療しております。

当院は、リスク管理、早期発見、早期治療を心掛け、基幹病院との連携をスムーズに行えるように、患者さんの病歴管理などに努めております。当院のみでは解決できないことが起きた場合には、速やかに基幹病院へ紹介し、患者さんの経過が少しでも良くなるように、日々診療にあたっています。また検査後の説明も、患者さんに分かりやすく、丁寧に説明することを、心掛けています。これからも、「相談できる地元のクリニック」を目指し、基幹病院や地域診療所との連携を取りながら、地域医療に貢献できるよう努力して参りたいと考えております。

今後とも宜しくお願い致します。



◆米倉胃腸科クリニック  
所在地/各務原市鶴沼西町3丁目131  
電話/058-370-0781  
診療時間/9:00~12:00、16:00~19:00  
休診日/水曜日、土曜日午後、日曜日、祝祭日



我友人杉田玄白所譯之解體新書  
夫紅毛之画也至矣哉如余不佞者非敢  
圖怨及朋友嗚呼與買怨于同胞寧  
子幸恕也

東羽秋田藩



## 感染対策の基本

≡ 教育講演動画 ≡

岐阜大学大学院医学系研究科  
感染症寄附講座

特任教授 手塚 宜行



▶ 会員の方はこちらから

<http://iryousougoushien.jp/>